



キタテハ

見沼自然散策

2023.3.4



カワセミ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



マンサク



マンサクのつぼみ

←春、まず一番に咲くから「マンサク」。一つの花には細い花弁が4枚。開花前はつぼみの中に丸められて収まっている

→ウメも春一番に咲く花。中国原産で、薬として持ち込まれたと考えられている



ウメ



モズ

春が近づくと、鳥たちは恋の季節。ウグイスはホーホケキョと鳴き、ホオジロは「一筆啓上仕り候」。モズはほかの鳥の声をまねて雌の気を引く

一方、羽の色を変える鳥も。アオジのオスは目の周りを黒くしてメスへアピール。



ホオジロさえずり



アオジ



キイロテントウ



ナナホシテントウ

テントウムシは成虫で越冬する。
ナナホシテントウは春早くの暖かい日に出てくるので春を告げる虫として好まれる
キイロテントウは植物につくカビを食べる

ウラギンシジミも成虫越冬葉の裏などでじっと動かずに冬を過ごす。



ウラギンシジミ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ

春一番に花をつけるのは青や紫の花。光の波長が長い色で遠くから虫に見つけてほしいから。
オオイヌノフグリはほかの草が伸びる前に青いじゅうたんを広げる。
ノボロギクはアスファルトの隙間から伸びて花をつける



ノボロギク



アカガエルの卵

アカガエルの卵を探そう
ニホンアカガエルは2月～3月、冬眠から起きて産卵
成体が暮らすのは森や屋敷林。水辺から遠い場合もあり、冬の夜、産卵のために移動するのは大変！
水辺が減少するなどもあるため、生息数が減っている



アカガエルオタマジャクシ



スイレン

